

寅さん歩 その 26

東京の主要道路の起点～終点

明治通り－5



平野 武宏

道路名の標識・経路案内標識や標識の数字・その形に興味を持った寅次郎、東京の主要道路を起点から終点まで道路標識を頼りに歩いて、各交差点で交差する道路を学びたいと思いました。明治通りとは東京都の通称の道路名で別に道路法の道路名があり、途中で道路法の道路名が変わる場合もあります。現在歩いている明治通りは都道 306 号線で道路名は六角形の中に数字で表示（写真右上）されます。

明治通りは港区南麻布二丁目古川橋交差点を起点に渋谷区、新宿区、豊島区、北区、荒川区、台東区、墨田区を経由して江東区夢の島交差点までの 33 km の環状道路で、長い道のりなので 6 回に分けています。今回は豊島区西巣鴨交差点から台東区大関横丁交差点手前まで歩きました。今回は台東区大関横丁交差点から江東区亀戸四丁目交差点手前まで 2021 年 11 月に歩きました。再開した寅さん歩 東京の博物館めぐりも並行して記載します。掲載の写真は人や車の密を避けた時間帯に撮影しました。詳細を知りたい方は各道路のホームページをご覧ください。最寄駅は交通機関を利用した場合の代表駅です。

バーチャルウォークの途中経過も報告します。

〔大関横丁交差点〕 台東区三ノ輪二丁目

最寄駅 日比谷線 三ノ輪駅

明治通り（都道 306 号線）は大関横丁交差点（写真下右）で国道 4 号線と交差（写真右）します。都道の緑色の標識は主要地方道とのことです。写真下左の経路案内標識で大関横丁交差点は上野方面から来た昭和通りの終点で、千住方面に向かう日光街道の起点と知りました。



大関横丁の名は下野国（現在の栃木県）黒羽藩主の大関信濃守の下屋敷があったことに由来し、町名は大関横町だったとのこと。大関交差点の右角に東京メトロ日比谷線（以下日比谷線）三ノ輪駅入り口があります。



写真左は交差点を直進、すぐに左側にある永久寺です。江戸五色不動の目黄（めき）不動があります。五色不動については寅さん歩10江戸五色不動めぐりをご覧ください。

[三ノ輪二丁目交差点]

荒川区三ノ輪二丁目

最寄駅 日比谷線 三ノ輪駅



明治通り（都道 306 号線）は三ノ輪二丁目交差点（写真上右）で左方向に道なりに進みます。右へ行くと浅草方面です。建物の間に東京スカイツリー（以下スカイツリー）が見えますが、写真では朝の光の関係で霞んでしまいました。スカイツリーはこれから多く見られますので、お楽しみに！

〔泪橋交差点〕 荒川区南千住二丁目 最寄駅 JR常磐線 南千住駅

泪橋交差点（写真下右）で都道 464 号線と交差します。左へ行くと南千住駅方面、右へ行くと言問橋方面です。明治通り（都道 306 号線）は直進で亀戸、東向島方面に進みます。



泪橋の名の由来は、現在の南千住駅脇に江戸時代から明治 6 年まで小塚原刑場があり、そこに連行される囚人たちが現世を去るに際して涙を流しながらこの橋を渡ったからとも、囚人の知人が今世の別れを惜しんで袖を濡らしたからともいわれています。さらに東京ガスの広い敷地（水素ステーション）を左手に見ながら進むと左側に石浜神社が見えます。石浜神社は聖武天皇の神亀元年（724 年）に創祀され、中世において伊勢参りのかわりに参詣する人々が絶えなかったそうです。石浜神社内には富士塚があります。寅さん歩 29 東京の富士塚めぐりー6 荒川区をご覧ください。

〔白鬚橋西詰交差点〕 荒川区南千住三丁目

最寄駅 JR常磐線 南千住駅

白鬚橋は隅田川にかかる橋です。1914 年（大正 3 年）白鬚木橋が架けられるまでは対岸の墨田区寺島と結ぶ墨田の渡し（白鬚の渡し・隅田川の渡しともいわ

れた) がありました。この渡りで伊勢物語の在原業平が渡河したといわれ、交通の要所として多くの人に利用されました。写真下左は白鬚橋西詰交差点で、写真下右は白鬚橋西詰です。橋名の由来は墨田区側にある白鬚神社に由来します。白鬚はパソコンの変換では白髭も出ます。白鬚橋は「鬚」のあごひげで、「髭」は口ひげと学びました。



明治通りが荒川区と台東区の区境で、白鬚橋西詰め右側は台東区になります。台東区側にある対鷗荘（たいおうそう）蹟碑（写真下左）の存在は以前来た時には反対側を歩き、丁寧に見ていませんでした。説明板を読むと「この一帯は風光明媚な地で薩長と共に明治維新で活躍した公家で明治時代の政治家 三条実美（さんじょう さねとみ）の別邸がありました。太政大臣の要職にあった実美は心労のあまり病に倒れ、この別邸で静養しており、明治天皇もお見舞いにこの邸を訪れています。対鷗荘は1928年（昭和3年）白鬚橋架橋工事に伴い、多摩聖蹟記念館（多摩市連光寺）に移築されました」と記載。写真下右は白鬚橋中央部からのスカイツリーです。



隅田川の中心線が荒川区・台東区と墨田区の区境なので、白鬚橋を渡ると墨田区に入ります。白鬚橋東詰交差点手前左側は都立白鬚公園で、隅田川に沿うように南北に約 1.2 km の細長い公園です。東側は 13 階建の高層住宅が並び、緑とレクリエーションの場で公園と住宅、リハビリ専門病院等とあわせて、この一帯は江東デルタ地区の防災拠点となっています。

〔白鬚橋東詰交差点〕 墨田区堤通二丁目

最寄駅 東武スカイツリーライン（伊勢崎線）東向島駅

明治通り（都道 306 号線）は白鬚橋東詰交差点で墨堤通り（都道 461 号線）と交差します。左へ行くと鐘ヶ淵、千住方面、右へ行くと向島、駒形橋方面です。明治通り（都道 306 号線）は直進して南砂、亀戸方面に向かいます。



さらに進むと右側に向島百花園があります。写真左は向島百花園入り口です。江戸の町人文化が花開いた文化・文政期（1804 年～1830 年）に、骨董商を営んでいた佐原鞠塙（きくう）が、交遊のあった江戸の墨客の協力を得て、花の咲く草木鑑賞を中心とした花園として開園しました。百花園とは、一説

では「四季百花の乱れ咲く園」という意味でつけられたといわれます。唯一、現代に残る江戸時代の花園です。1938 年（昭和 13 年）所有者から東京市に寄付され、翌年から東京市が有料で公開。国指定名勝・史跡になりました。

開園時間は9時～17時、休園日は12月29日～1月3日、入園料は一般150円、65歳以上は70円です。

〔東向島交差点〕 墨田区東向島三丁目

最寄駅 東武スカイツリーライン（伊勢崎線）東向島駅



明治通り（都道306号線）は東向島交差点（写真上右）で水戸街道（国道6号線）と交差します。左へ行くと四つ木方面、右へ行くと向島、浅草橋、東京スカイツリー方面です。

〔曳舟川交差点〕 墨田区東向島六丁目

最寄駅 東武スカイツリーライン（伊勢崎線）曳舟駅

明治通りは曳舟川交差点（写真下右）で曳舟通りと交差します。左へ行くと四つ木方面、右へ行くと業平橋方面です。曳舟とは葛飾区から墨田区にかけての川筋を舟に人を乗せて曳いた交通手段の曳舟に由来します。1929年（昭和4年）の荒川放水路の開削による川筋の分断で自動車道に改修されました



[京島交差点] 墨田区京島一丁目

最寄駅 京成押上線 京成曳舟駅

京島交差点（写真下右）で四ツ目通り（都道 465 号線）と交差します。四ツ目通りはここが起点で終点は江東区東陽 4 丁目です。左へ行くと八広、木根川橋方面、右へ行くと押上、スカイツリー、錦糸町方面です。



[小村井 (おむらい) 交差点] 墨田区文化三丁目

最寄駅 東武亀戸線 小村井駅

写真下左の経路案内標識のように明治通りは小村井交差点（写真下右）で亀戸方面へ右折します。



東武亀戸線の線路を横断すると右側に小村井駅（写真下左）が見えます。



さらに進むと、北十間川に架かる福神橋です。福神橋の中間部から右側はスカイツリーのビューポイント（写真右）です。川面に写る逆さスカイツリーが見ものです。北十間川が墨田区と江東区の区境で、福神橋を渡ると福神橋交差点です。

[福神橋交差点] 江東区亀戸三丁目 最寄駅 JR総武線 亀戸駅

福神橋交差点（写真下右）は右側から来た浅草通り（都道 453 号線）の終点です。明治通り（都道 306 号線）は直進して亀戸、南砂方面へ向かいます。



明治通りの右側を歩くと、すぐに亀戸香取神社鳥居（写真下左）があり、中に入ると右側に本殿（写真下右）があります。亀戸香取神社は 665 年（天智天皇 4 年）創建、天慶年間（938 年～947 年）藤原秀郷が平将門討伐の戦勝祈願し、めでたく成就したことから弓矢を奉納し「勝矢」と命名されました。歴代の天皇や源頼朝、徳川家康などの武将や剣豪 塚原ト伝、千葉周作などの

武道家や武道修行の人々から篤い崇敬を受けました。近年は「スポーツの神様」として売り出し、知名度を上げ、参拝者でにぎわっています。



境内には亀戸大根の碑（写真左）があります。文久年間（1861年～64年）頃から、この辺りで大根づくりが始まり、明治時代にかけて盛んに栽培されました。荒川水系によってできた肥沃な粘土質土壌は肉質が機密で白くさえた肌の大根づくりに大変適していました。亀戸大根は根が30cm程度の短い大根で先がクサビ状にとがっているのが特長です。

明治の頃には「おかめ大根」とか「お多福大根」と言われましたが、大正期になって産地の名をつけた「亀戸大根」と呼ばれました。宅地化が進んだ大正時代の終わり頃から、産地は江戸川区小岩や葛飾区高砂などに移っていきました。

亀戸香取神社は寅さん歩 43 健康ご利益めぐりー7 江東区ー2、勝矢祭は寅さん歩 90 江戸・東京の祭ー19「江戸らしい祭ー8」をご覧ください。

今回はここまでとします。次回は江東区亀戸四丁目交差点から終点の江東区夢の島交差点まで歩きます。

[バーチャルウォーク途中報告]

八柳修之さん作成の多くのバーチャルウォークコースがFWAホームページ「YR・四季の道」に掲載されています。

寅次郎、「弥次さん 喜多さんと伊勢参り」のバーチャルウォークで伊勢神宮での参拝を済ませ、弥次さん 喜多さんと別れ、四日市日永追分に戻り、残った東海道五十三次を京三条に向かい、2022年1月12日、近江国（現在の滋賀県）大津宿（日本橋から480km）に到着しました。

新型コロナウイルス感染拡大の緊急事態宣言は2021年10月1日から解除されましたが、新型コロナウイルスの新しい変異株（オミクロン株）が見つかり、世界中で感染拡大が始まっています。日本での感染拡大が心配です。

例会が再開されましたが、毎日の運動不足対策にはマイお散歩コースを見つけ、その歩いた距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。毎日の歩いた距離をコースシート上のマスを色塗りして進むバーチャルウォークはやりがいがあります。

FWAのHP「YR・四季の道」の「バーチャルウォークコーナー」は各コースが紹介され、各コースシートが印刷できます。

また「ひとり歩きコーナー」には地図付きの各コースがありますので選んで印刷して利用ください。

歩く際は密閉・密集・密接の密にならないよう、又それ以外の感染対策を怠らないようにお願いします！

平野 寅次郎 拝